

2020 年度実施概要

学校名

気仙沼市立鹿折小学校

採択活動名

海で復興・未来へつなぐ『気仙沼の魅力』発信プロジェクト

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海で復興・未来へつなぐ『気仙沼の魅力』発信プロジェクト	6	海と生きる探究活動
2. 世界とつながるぼくらの海郷学	5	海と生きる探究活動
3. 山・川・海～命をつなぐ鹿折川～	4	海と生きる探究活動
4. 鹿折の宝～人・自然・ものを見つけよう～	3	海と生きる探究活動

取組の概要

1 はじめに

東日本大震災から今年で10年が経過する。本校では大きな被害を受けた気仙沼・鹿折地域の復興を願うとともに、海とのつながりを見つめ、気仙沼の未来について考えるため「海で復興・未来へつなぐ『気仙沼の魅力』発信プロジェクト」を設定した。海とともに生きることを大切に、復興、そして気仙沼の新しい未来に向かって力強く立ち上がろうとしている「人・産業・まち・環境」について調べ、私たちが考え思い描く気仙沼の姿を発信する活動に取り組んできた。

また、本校は今年度から海洋教育課程特例校の指定を受けて、新設領域「海と生きる探究活動」を設定し、児童の「生きて働く学力」を育成するため実践を進めてきた。「地域に開かれた教育課程」の具現と児童の学びを有意義なものにするために、3年生～6年生までの探究的な学びのカリキュラムデザインの研究を進めながら児童の資質・能力の向上に努めている。

2 取組について

鹿折地区は、水産加工場や造船所など、気仙沼市の基幹産業である水産業を支える周辺作業が多い地域である。また、リアス式海岸の特色を生かしてワカメや牡蠣の養殖を行ったり、鹿折川及び支流を利用して農業を営んだりするなど、恵まれた自然環境を生かした取組が行われている地域でもある。第3学年では、「鹿折の宝」をテーマに、受け継がれる伝統的な祭の「天旗まつり」の調査や、地域の宝である豊かな海を利用しながらワカメ養殖を営む漁師から、種挟みや収穫を、体験を通して学ぶなど、海に親しむ体験を通して地域・ふるさとのよさを知る活動を行った。第4学年は「命を育む水」をテーマに鹿折川の環境調査、米づくり体験活動を行った。また鹿折川に生息する環境指標生物を採取し、鹿折川の汚染状況を調査し、その原因がどのようなところにあるかを考えた。第5学年では、気仙沼の水産業について学んだ。気仙沼市の産業を支えるマグロ延縄船の船員や、水産加工場に勤める方の話を聞くことができ、気仙沼市の伝統を受け継ぐ思いを知ることができた。第6学年では、スローフードをテーマに、気仙沼市の魅力について考えた。探究旅行では、会津の食と気仙沼市の食を合わせたオリジナル弁当の試食会を開き、地産地消の大切さについて考えることができた。また、5・6年生は調べたことを地球温暖化等のグローバルな課題と結び付けながら考えを深めることができた。2月に行った「海洋フォーラム in 鹿折」では、地域や保護者へ学びの成果を発信することができた。

活動中の写真

デジタルデータにて2〜3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)

